

## 「車いす空の旅・沖縄」が実施されました

令和7年11月29日

神奈川県内の障がい児者とその家族が、飛行機での旅行を楽しむ「車いす空の旅・沖縄」が、公益財団法人神奈川新聞厚生文化事業団主催により実施され、障がい児者 10 名とご家族、ボランティアを加えた総勢 41 名が参加しました。

今回は令和7年 11月 27 日(木)から 29 日(土)の2泊3日、1日目は那覇空港到着後、国際通りや首里城を車窓に眺めながら宿泊先のホテルに向かいました。

出発前にみんなで記念撮影



「いってらっしゃい！」 左 堀井理事



2日目の美ら海水族館ではジンベイザメやマンタの優雅に泳ぐ姿や、ダイナミックなイルカショーをたっぷりと楽しみました。

みなさんお楽しみの美ら海水族館



夕食後にはお楽しみ抽選会



最終日の3日目は琉球村でシーサーの色付け体験や、伝統舞踊のエイサー鑑賞を堪能しました。

伝統舞踊「エイサー」を鑑賞



遊技場協同組合の職員もボランティアとして参加をさせていただきました。羽田空港到着後の解散式では、参加者のみなさんからたくさん感謝の言葉を頂戴しましたが、ボランティアもとても有意義で楽しい時間を過ごせたことに感謝の気持ちでいっぱいになりました。

神奈川県遊技場協同組合と神奈川福祉事業協会は、平成元年よりこの「車いす空の旅」事業等の支援を行っています。私たち遊戯業界は、これからも社会貢献活動に取り組んでまいります。



神奈川福祉事業協会は昭和 60 年 2 月、神奈川県遊技場協同組合をはじめ県内遊技業界により社会福祉に貢献する組織として設立されました。